



ART
Architecture for
REDD+ Transactions

管轄REDD+とは

ART-TREESの概要及び経験の共有

2023年10月30日

ART事務局 瀧本麻子

REDD+の可能性と課題

- 森林は気候変動への適応と緩和の両方に多大な貢献ができる可能性を持つ
- 世界中の（特に途上国の）森林への伐採プレッシャーは増え続けている
- 森林を保有する国々は経済発展に重点を置きつつも、森林にかかわる全てのステークホルダーの権利にも配慮しなくてはならない。
- これらの問題全てに同時に取り組むためには、活動をより包括的かつスケールを大きくすると共に、様々な分野の連携をとることが必要不可欠

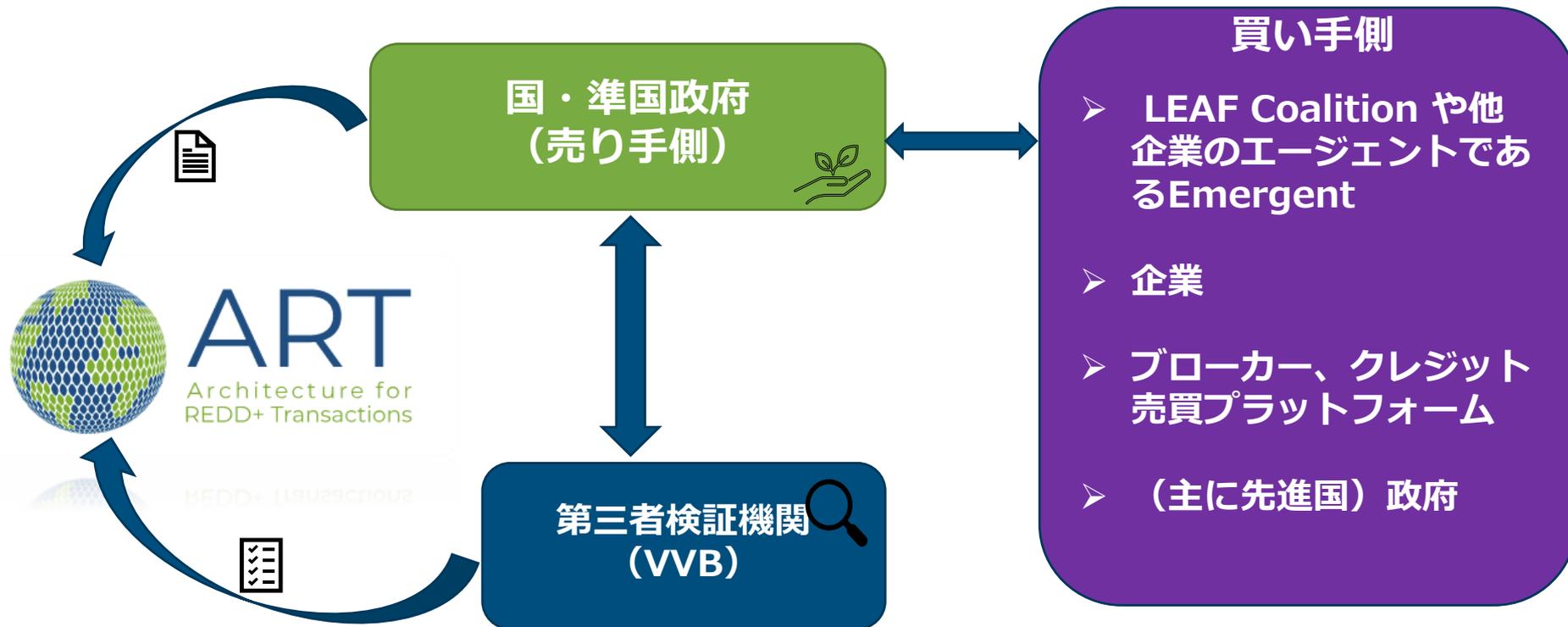
管轄REDD+とは

- 異なるレベルのアプローチを組み合わせることで、より持続可能な効果が見込める
- 政府機関にしか実施できないREDD+に関する活動（政策実施等）がある
- 小規模な活動はそれぞれの地域の森林減少の原因に即した対応ができる
- Jurisdictional レベルの活動は、それら個々の活動をうまく組み合わせ、調整するためのインセンティブを提供できる

ART設立の目的

- 環境や社会へ配慮した森林、土地利用セクターにおける炭素排出削減、及び吸収への取り組みを推進するために、高品質のボランタリーカーボンプラグレジットを登録、検証し、発行する
- 実施者（クレジット発行先）である国・準国政府に大規模なREDD+資金へのアクセスを提供し、さらにREDD+の活動を推進する。

ARTのカーボン市場における役割



ART 参加国／準国

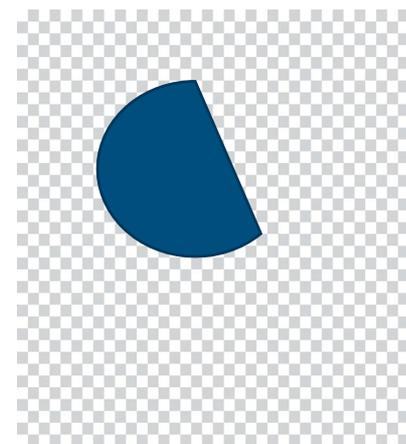
1) 国政府が国土全体を対象に申請=面積上の制約無し



2) 国政府が一部の行政地域（先住民テリトリーや準国領域を含む）を対象に申請
≥ 2.5百万 ha以上の森林面積が必要



3) 準国政府がその行政地域100%を対象に申請 ≥ 2.5百万 ha以上の森林面積が必要

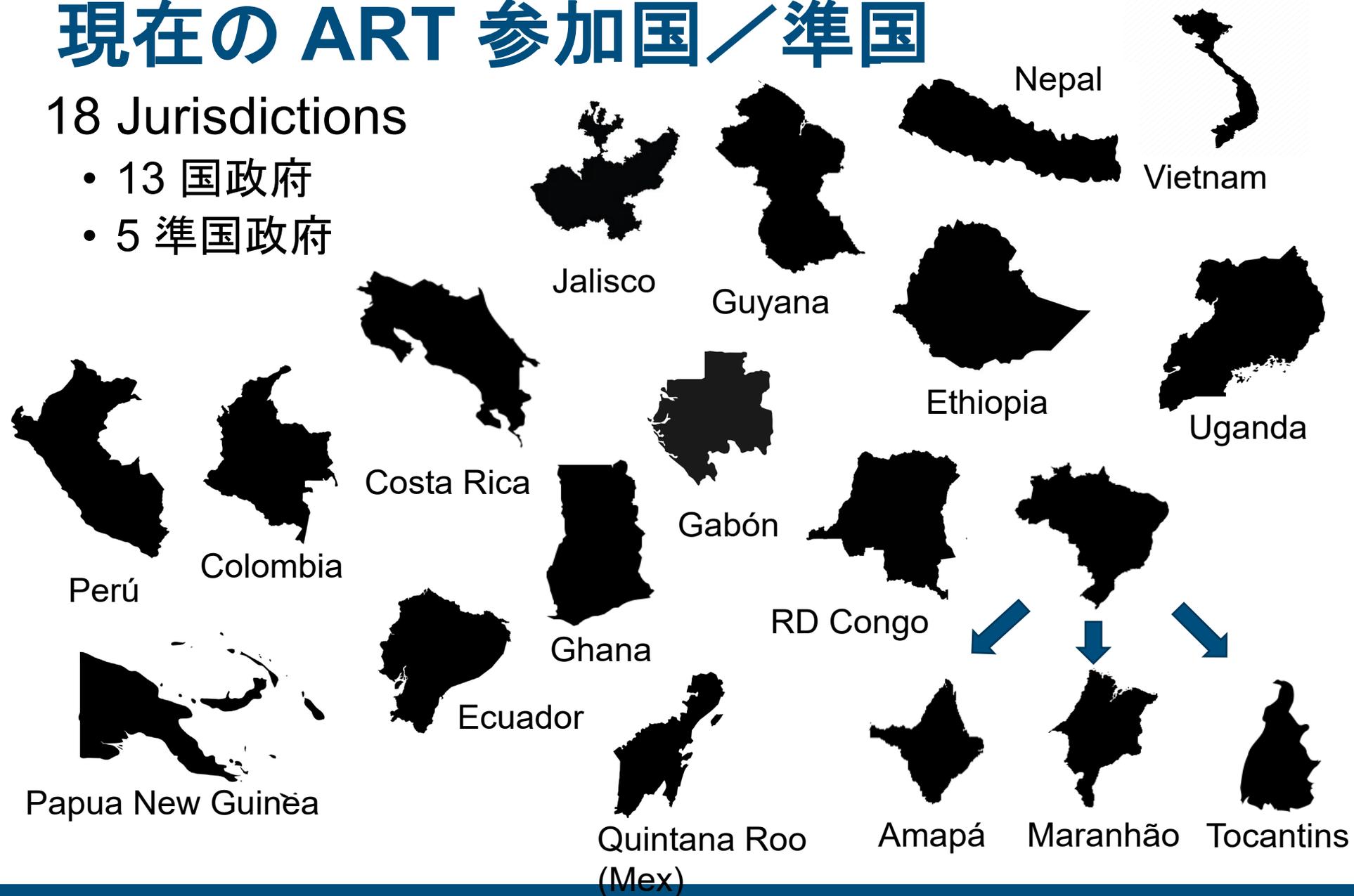


準国を対象地域として申請できるのは2030年末まで。

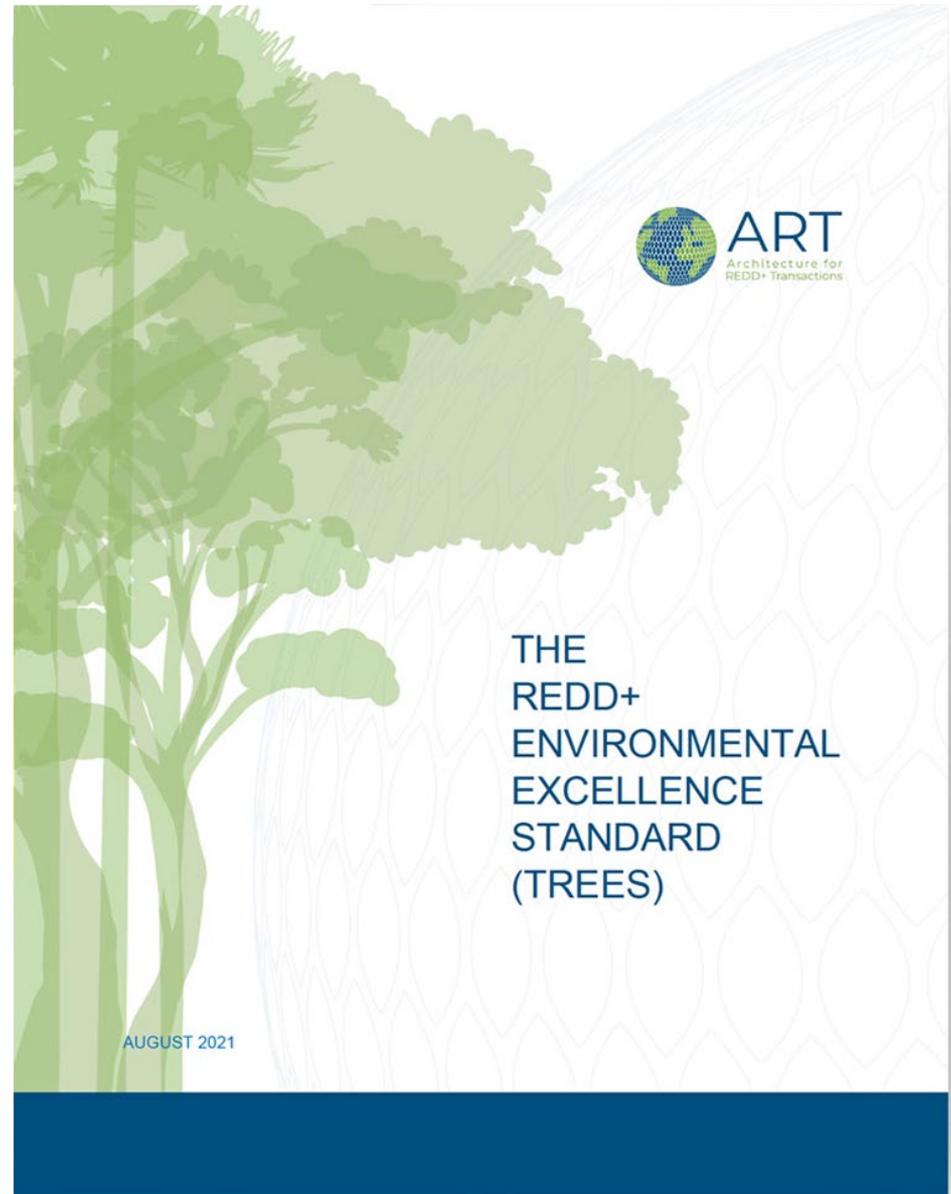
現在の ART 参加国／準国

18 Jurisdictions

- 13 国政府
- 5 準国政府



The REDD+ Environmental Excellence Standard (TREES)



TREESにおける3つの クレジット計上アプローチ

排出削減

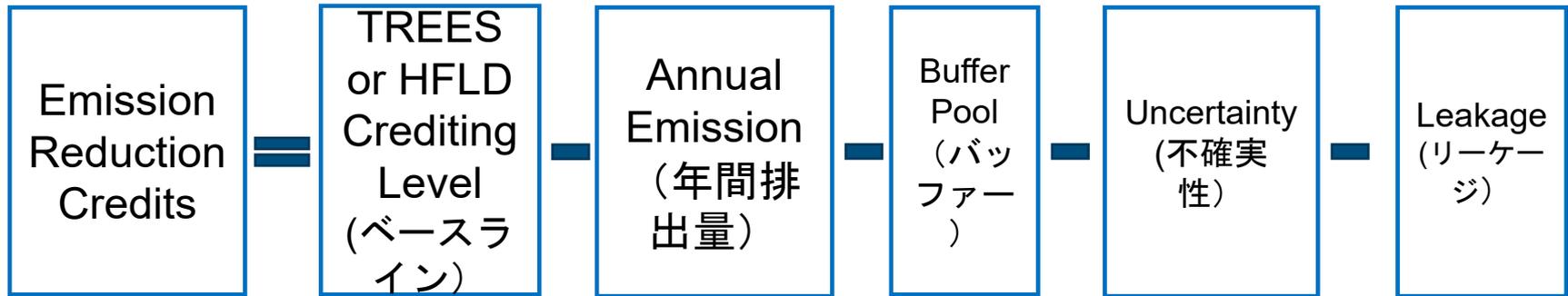
- **TREES** アプローチ：森林減少や劣化を削減した Jurisdiction 対象
- **HFLD** アプローチ：森林被覆率が高く森林減少率が低い Jurisdiction 対象

吸収

- 非森林から森林への移行した地域対象（プランテーション、自然林再生の両方を含む）

TREES 排出削減の計算

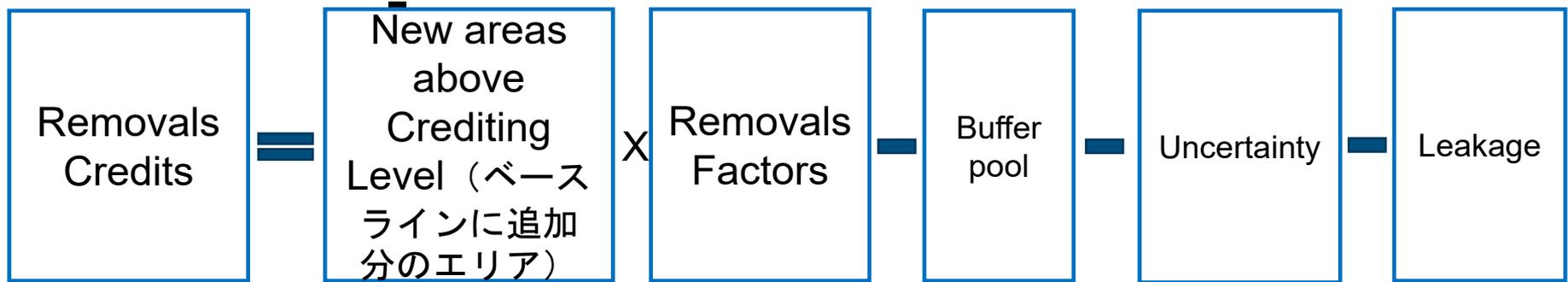
排出削減クレジット (ER) credits =



- 申請されたERクレジットがTREESに準拠しているか、第三者機関（VVB）によって検証され、それがART理事会で承認された後、事務局がシリアルナンバーのついたクレジットを当該国・準国政府のレジストリー口座に発行。

TREES 吸収の計算

吸収 クレジット (Removal credits) =



- 吸収分もTREESへの準拠が第三者機関により検証され、ART理事会での承認を受けた後、事務局がシリアルナンバーのついたクレジットを国・準国政府のレジストリー口座に発行。(吸収クレジットは排出削減が達成された場合のみ申請可能)

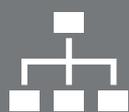
TREESのセーフガード

- REDD+のセーフガード事項は国際的に合意済み（カンクンセーフガード）
- TREESのセーフガード要求事項はカンクンセーフガードをテーマ別の指標に落とし込んだ枠組み
- このセーフガード枠組みは国・準国政府が：
 - それぞれの現行セーフガードシステムを基礎に作ることが可能
 - それぞれの個別の状況・環境に合わせたかたちで設計、実施が可能であるように設定されている

セーフガードのテーマと指標



TREES はカンクンセーフガードを16のテーマに分類



それぞれのテーマが3つの指標を有する:

Structure (体制)

Process (過程)

Outcome (成果)



セーフガードの指標が達成されているかの検証は排出量計算の検証と同様に重要

Nesting

(プロジェクトレベルの活動との共存)

プロジェクトが他の
クレジット認証プロ
グラムによりクレ
ジットを創出



発行されたクレジット
分はTREESクレジット
トから差し引かれる

プロジェクトが
ARTに参加、活動
及び申請を支援



TREESクレジット
の分配

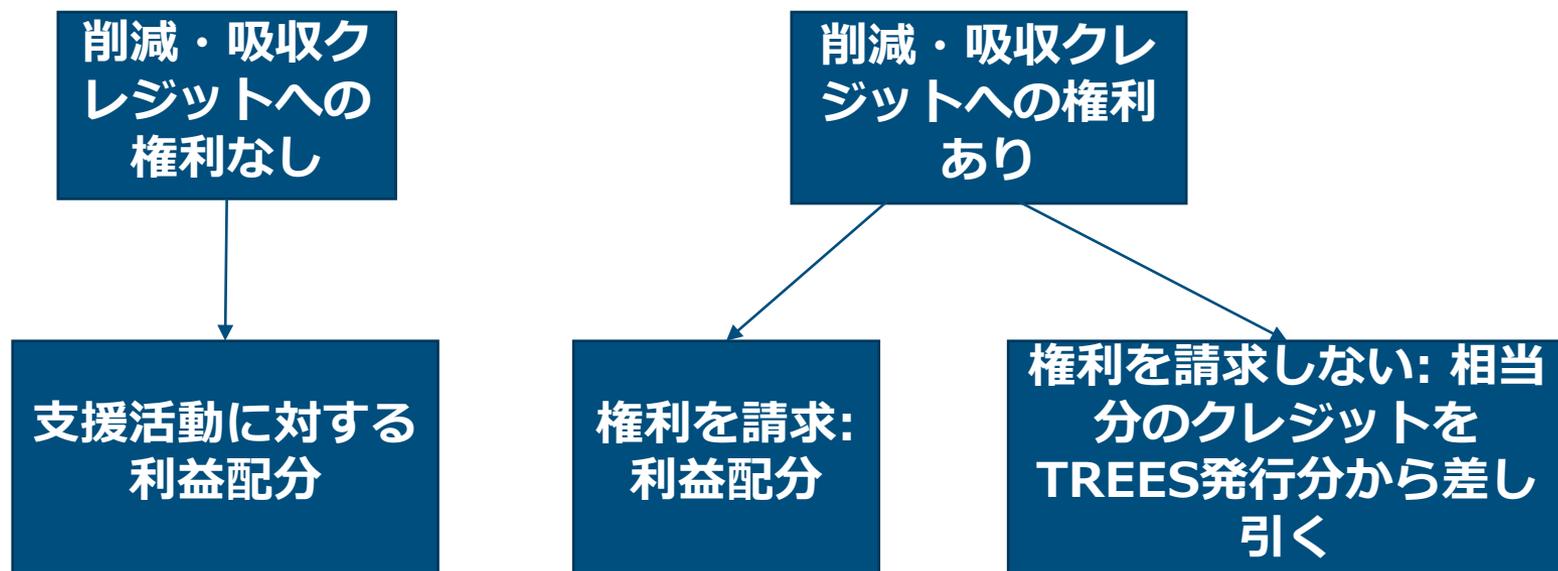
プロジェクトがクレジット
トの権利を有しながらも
認証プログラムへ参加を
希望しない



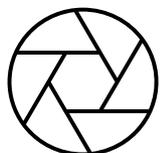
プロジェクトのクレジット
ト所有権を尊重し、該当
する量のクレジットを
TREESクレジットから差
し引く

国や準国レベルのREDD+プログラムを支援する活動

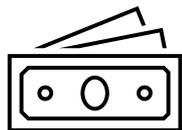
先住民や森林に居住するコミュニティ（IPLC）を含む全ての関係者はREDD+プログラムに参加する方法に複数のオプションがある



利益分配のオプション



TREESクレジットを当該ステークホルダーのARTレジストリー口座に分配。ステークホルダーは個別にクレジット売買の交渉ができる



TREESクレジットを販売した政府が、その収入を排出削減・吸収に貢献した割合によりステークホルダーに分配



生態系サービスへの支払いなど、カーボンとは関係ない利益分配システムにより収入を分配



非金銭的な利益の分配（インフラ整備、土地所有権の承認など）

Double Counting (クレジットの二重計上)

- 参加国・準国政府はNDCの報告における相当調整 (Corresponding Adjustments) を、パリ条約6条2項、ICAOのCORSIAにおける要求事項に即した形で実施しなければならない。
- 相当調整はボランタリーカーボン市場における売買では、売り手及び買い手が特に指定あるいは希望する場合を除き、必須事項ではない。

Validation and Verification (検証及び妥当性確認)

- Validation and Verificationは各クレジット申請期間（5年）の1年目（歴年）が終わったところで実施必須
- Verificationは各クレジット期間の3年目と5年目（暦年）の後にもそれぞれ必須。（2年目と4年目の終了時はオプション）
- 実施する第三者検証機関（Validation and Verification Bodies: VVB）は、International Accreditation Forum (IAF) のメンバーである認定機関から認証を受け、さらにARTが承認した組織でなければいけない。

ART レジストリー

- 安全・堅固で透明性の高いレジストリーシステムが、ARTのクレジット運営のために設計され、事務局が管理。
- バックエンドユーザーインターフェイスにより、ログインアカウントからTREES関連の文書へのアクセス、アップロードが可能。
- レジストリーのフロントエンドからは公表されているTREESの申請・検証書類へのアクセスができ、クレジットの発行や状態（アクティブ、リタイア、キャンセル）なども確認可能
- 全ての発行されたクレジットにはシリアルナンバーがついていて、参加国・準国がクレジットのトランスファーやリタイアの操作可能

TREES クレジットの使用

- 企業の気候変動対応コミットメントの達成に（ボランタリーあるいはコンプライアンスマーケット上）
- ICAOのCORSIAにおける航空業界の排出削減規定の達成に
- 先進国などの政府がNDC達成のために、パリ条約6条2項の枠組みの中でREDD+国からトランスファーするクレジットに
- 投資ファンドやカーボンマーケットブローカーが扱う商品に
- REDD+国へのドナー国／組織からの成果支払いに

炭素を越えて

- 様々な関係者との協議やリクエストにより構想が始動
- 炭素クレジットマーケットは、森林を保護する価値を包括的に評価しているとはいえない。
- 現存する市場のスタンダードは（TREESも含め）：
 - ❖ 炭素排出のインパクト
 - ❖ 関係者の権利と環境（生物多様性やエコシステム全体）や社会を傷つけないことに焦点を置いたセーフガードの両方をチェックしている。



構想

- オプションでREDD+プログラムや森林保護によるプラスのインパクト（公益）を認証する新たな制度：
 - ❖ 生物多様性
 - ❖ 炭素以外の森林の公益機能
 - ❖ 社会・文化的な利益
- TREESの他要件と同様に、透明性の高い報告と検証による質の確保

なぜ認証制度なのか

- 現行するシステムと市場を利用し、現存する需要と供給に対応
 - 新しくシステムを設立する時間と労力が短縮でき、明確に存在している需要側、供給側を対象にできる
- 透明性が高く、一貫性のあるモニタリングと報告の仕組みが、参加者と認証制度を使用する全ての関係者に求められる。
- 第3者機関による検証と妥当性の確認（V&V）が必要
 - 購入者と市場はこのチェック機能を要求



ありがとうございました。

お問い合わせ、ご質問は
REDD@winrock.org まで